【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和6年9月27日(2024.9.27)

【国際公開番号】WO2022/067233
【公表番号】特表2023-543262(P2023-543262A)
【公表日】令和5年10月13日(2023.10.13)
【年通号数】公開公報(特許)2023-193
【出願番号】特願2023-519180(P2023-519180)
【国際特許分類】
C07K 16/18(2006.01)
C07K 16/46(2006.01)
A61K 39/395(2006.01)
A61P 13/12(2006.01)
C12N 15/13(2006.01)
C12N 15/63(2006.01)
C12N 5/10(2006.01)
C12P 21/08(2006.01)
【FI】
C07K 16/18
C07K 16/46
A61K 39/395 N
A61P 13/12
C12N 15/13 ZNA
C12N 15/63 Z
C12N 5/10
C12P 21/08

【手続補正書】
【提出日】令和6年9月18日(2024.9.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
修飾されたＩｇＧまたはポリペプチドであって：
（ｉ）野生型イヌ科動物（ｃａｎｉｎｅ）ＩｇＧ定常ドメインと比較して少なくとも１つのアミノ酸置換を含み、前記置換が、ＫａｂａｔにおけるＥＵインデックスに従って付番されたアミノ酸残基４３４にあり、
前記置換が、４３４位でのアスパラギンのヒスチジンとの置換（Ｎ４３４Ｈ）である、イヌ科動物ＩｇＧ定常ドメイン、および
（ｉｉ）イヌ科動物ＩｇＧ可変ドメイン
を含み、
前記ＩｇＧが、抗ＴＧＦβ分子である、前記修飾されたＩｇＧまたはポリペプチド。
【請求項２】
前記イヌ科動物ＩｇＧ定常ドメインを有する修飾されたＩｇＧまたはポリペプチドが、前記野生型イヌ科動物ＩｇＧ定常ドメインを有するポリペプチドよりも長い半減期を有する、請求項１に記載の修飾されたＩｇＧまたはポリペプチド。

【請求項３】
ＣＨ２若しくはＣＨ３ドメイン又はそれらの組み合わせを有するＦｃ定常領域を含む、請求項１に記載の修飾されたＩｇＧまたはポリペプチド。
【請求項４】
前記野生型イヌ科動物ＩｇＧ定常ドメインが、配列番号２に記載のアミノ酸配列を含む、請求項２に記載の修飾されたＩｇＧまたはポリペプチド。
【請求項５】
請求項１に記載の修飾されたＩｇＧまたはポリペプチドと、薬学的に許容される担体と、を含む、薬学的組成物。
【請求項６】
容器内の請求項１に記載の修飾されたＩｇＧまたはポリペプチドと、使用指示書と、を含む、キット。
【請求項７】
請求項１に記載の修飾されたＩｇＧまたはポリペプチドを含む、融合分子。
【請求項８】
イヌにおけるＦｃＲｎへの結合親和性を向上させるための医薬品の製造における組成物の使用であって、前記組成物はポリペプチドを含み、該ポリペプチドは、
（ｉ）野生型イヌ科動物ＩｇＧ定常ドメインと比較して少なくとも１つのアミノ酸置換を含み、前記置換がＫａｂａｔにおけるＥＵインデックスに従って付番されたアミノ酸残基４３４にあり、前記置換が４３４位でのアスパラギンのヒスチジンとの置換（Ｎ４３４Ｈ）である、イヌ科動物ＩｇＧ定常ドメイン、および
（ｉｉ）イヌ科動物ＩｇＧ可変ドメイン
を含み、前記ＩｇＧが抗ＴＧＦβ分子である、前記使用。
【請求項９】
ポリペプチドが、ＣＨ２若しくはＣＨ３ドメイン又はそれらの組み合わせを有するＦｃ定常領域を含む、請求項８に記載の使用。
【請求項１０】
前記野生型イヌ科動物ＩｇＧ定常ドメインが、配列番号２に記載のアミノ酸配列を含む、請求項８に記載の使用。